様式第１号

令和４年度　学校経営計画書

学校番号	1	学 校 名	静岡県立下田高等学校（分校）	校 長 名	石田　金也

１　目指す学校像

(1) 教育目標

伊豆半島南部における高校教育の総合的・包括的拠点校というスクール・アイデンティティを掲げ、何事にも誠実に取り組む「至誠」と広く日本や世界で活躍する「雄飛」、及び地域のために尽くす「献身」をこころざしにできる人間を育てる学校を目指す。そのために、生徒を大切にし、知・徳・体の人間性を練磨して、進路実現と自己実現を図る。

(2) 目標具現化の柱

ア　すべてに優先する安心安全な学校づくり

(ｱ)　事故、トラブルのない学校づくり

(ｲ)　防災体制の充実

イ　基本的な生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実

(ｱ)　積極的な挨拶の励行

(ｲ)　特別活動の充実

(ｳ)　常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成

(ｴ)　図書環境の充実整備と朝読書習慣の定着

ウ　地域の特性と農業の多面性を活用した学習の展開

(ｱ)　地域連携の強化

(ｲ)　農業クラブの積極的活動

(ｳ)　ＳＤＧｓ活動の充実

(ｴ)　学び直しによる基礎学力の定着

(ｵ)　生徒の学力向上に向けた授業改善の実践

エ　地域への積極的貢献と情報発信

(ｱ)　地域行事、地域防災等への積極的な参加

(ｲ)　一個人一交流の実施

オ　個に応じた丁寧な進路指導

(ｱ)　計画的なキャリア教育の展開

(ｲ)　特別支援教育の充実及び基礎学力の定着

(ｳ)　地元企業等への積極的なアピール及び連携

カ　学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進

キ　働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築

(ｱ)　職員の積極的な休暇取得の促進、教職員間の積極的なコミュニケーションを促す

(ｲ)　精選と改善に向けた業務の記録化

(ｳ)　職場環境の充実

ク　教育目標達成のための適切な財務執行

(ｱ)　事案に応じた計画的な準備と経費の執行

２　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	すべてに優先する安心安全な学校づくり	事故、トラブルのない学校づくり	○登下校時の交通事故０件。 ○重大事態発生０件。 ○いじめアンケート（年３回）。	生徒課 （保健課） （教育相談）
		防災体制の充実	○防災訓練（年２回）。 ○外部講師による防災教育（年１回）。	総務課
イ	**基本的生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生活指導の充実**	積極的な挨拶の励行	○毎朝の登校指導。 ○職員室入室指導。	生徒課
		特別活動の充実	○LHR 等でのコミュニケーション能力向上プログラム（年５回以上）。	生徒課
		常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成	○授業を大切にし、学習習慣を身につけ、提出物の期限を遵守する生徒 80％以上。 ○長欠・不登校０、出席率 98％以上。 ○遅刻者数、前年度比 50％減 ○マナー・モラル向上（言葉遣い、服装・礼節等）指導（年５回以上）。 ○定期テスト前生活時間帯調査（年５回）。	生徒課 教務課 進路課
		図書環境の充実整備と朝読書習慣の定着	○読書会（年１回）。 ○図書室機能向上と貸出数 80 冊。	図書係
ウ	**地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開**	地域連携の強化	○地域機関や人材との連携 20 回以上。	農場課
		農業クラブの積極的活動	○県大会（意見・プロジェクト）各部門出場（３部門）、内入賞（２件以上）。	
		ＳＤＧｓ活動の充実	○ＳＤＧｓの趣旨を踏まえた、地域を重点視野に入れた農業学習の実施。	
		スマート農業学習の充実	○施設運用基本計画の策定。 ○全生徒が授業において施設活用する。	
		学び直しによる基礎学力の定着	○公文式等を活用した学び直しの実施。	教務課
		生徒の学力向上に向けた授業改善の実践	○令和５年度用のシラバス年内完成 ○基礎力テスト後の分析対応検討。 ○授業公開週間（年２回）。 ○授業公開への各教員参加（２回以上）。	教務課 農場課 進路課
エ	積極的な地域貢献と情報発信	地域行事、地域防災等への積極的な参加	○地域防災訓練参加率（50％以上）。	総務課
		一個人一交流の実施	○「総合的な探究の時間」で地域と関わる時間（各学年で２時間以上）。 ○生徒の地域交流機会（１日体験ナース等）の情報提供。 ○生徒の主体的な地域貢献活動への参加（１回以上）。	教務課 進路課 農場課
		マスコミ等への積極的な情報提供	○分校だよりの発行（月１回）。 ○ホームページの更新（年 40 回以上）。 ○新聞社等へ取材依頼（年 50 回以上）。	総務課

オ	個に応じた丁寧な進路指導	計画的なキャリア教育の展開	○職場見学、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ等の実施。 ○年度末までに進路の方向性を決める生徒（１年 60%、２年 80%、３年 100%）。	進路課
		特別支援教育の充実及び基礎学力の定着	○通級巡回指導の実施 ○スクールカウンセラーによる年度始めの１分間面談と毎月の個別相談の実施とフィードバック。 ○毎学期の面談、生徒情報の教員間共有。 ○学びの基礎診断診断（年１回）を実施し、学び直しによる学力分析。	生徒課 （保健課） （教育相談） 教務課
		地元企業等への積極的なアピール及び連携	○役場や法人会、企業等と連携した、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、職場見学、面接練習の実施。	進路課 （総務課）
カ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進	チーム学校と育成指標に基づいた研修の充実	○授業改善･観点別評価の研修（年２回）。 ○チーム研修（年３回以上）。	教務課 （研修） （管理職）
キ	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	教職員の積極的な休暇取得の促進、教職員間の積極的なコミュニケーションを促す	○夏季休暇以外の年休３日以上の取得者（100%）。	管理職 （保健課）
		精選と改善に向けた業務の記録化	○分掌会議の時間を確保し、行事等の見直し実施。 ○分掌ロッカーによるファイル管理。	
		職場環境の充実	○充実改善要望（実現５件）。	
ク	教育目標達成のための適切な財務執行	事案に応じた計画的な準備と経費の執行	○学校経営予算（執行時期が定まっているものを除く）の 12 月末時点執行率は 70%以上を目標とする。年度末執行率は 100%を目標値とする。 ○小破修繕は危険個所を最優先に速やかに実施する。修繕予算の 12 月末時点執行率は 70%以上を目標値とする。 ○施設設備の不備による事故（0 件）。 ○個人情報流出（0 件）。	事務部